

令和3年度第2回「府民躍動 雇用応援★夢プラン（仮称）」推進会議

- 1 日時 令和3年8月26日（木）15:30～17:30
- 2 場所 WEB 会議
- 3 出席者 久本座長、宗田委員、廣岡委員、小畑委員、吉見委員、奥野委員、原田委員、中谷委員、田中（秀）部会委員、伊澤部会委員、田中（誠）部会委員、中森部会委員
オブザーバー：宮田氏、岡田氏（以上14名）

4 概要

【若者について】

- ・高校卒業時にジョブパークに登録し、企業と学校とジョブパークが連携の上、離職の予兆の段階で対処していくことが重要。
- ・奨学金返済支援対策にも力をいれていただきたい。
- ・高校の職業教育は、求人構造、産業構造に見合う形で誘導していくことが大事。
- ・学生が入社に際し就職先に何を求めているか、ニーズを把握することが必要。
- ・「ものを作って楽しかった」で終わってしまうものづくり体験などではなく、働くことにつながるキャリア教育の推進が重要。
- ・求職者に、ジョブパークや奨学金返済支援制度等があることをしっかり宣伝し、京都に居着いてもらう方法を考えることが、人手不足解消のために重要。

【新しい働き方について】

- ・待遇を改善し、風通しの良い企業風土を作っていくことが重要。
- ・働き方改革を行ってメリットを享受した企業についての情報を横展開する等、積極的なアウトリーチを行っていくと、中小企業の風土改革に繋がっていく。
- ・中小企業の求職者に対するニーズを把握する必要がある。

【ダイバーシティについて】

- ・特例子会社や中小企業に対する協同組合特例等を活用して、障害者に仕事の場を提供していくことが大事。
- ・観光産業に携わる非正規雇用労働者が多い中で、女性をどのように活用していくかを明確にしてほしい。
- ・ダイバーシティや多様な働き方が進む中では、働く人の満足度に目を向けることが必要。

【人材育成について】

- ・コロナ禍やデジタル化の進展等により、産業構造、求人構造が大きく変わってきており、求人と求職者の能力のギャップによる雇用のミスマッチが生じている。
- ・デジタル化に係るリカレント教育は、中小企業のニーズを掘り起こし、そのニーズに合ったカリキュラムを作っていくことが必要。
- ・特に中小企業における人材育成を図っていくことが重要。

【生涯現役活躍について】

- ・退職する直前ではなく、20代、30代の若い頃から、学び直しをすることが大切。

【その他】

- ・人材が必要なところに移動して活躍しているケース等、学生や働いている人、職を求めている人達にどのように情報を伝えていくのが重要。
- ・兼業副業を希望する人も多い現状を踏まえることが必要。
- ・地域特性がある中で、企業や地域住民のニーズを把握し、教育やマッチングに活かしていくことが重要。
- ・今後は、知的な資産といった知恵をどれだけ持つかが企業の競争力に影響してくる。まず、人に長く定着してもらい、知恵を築いてもらった上で、リカレントや雇用の流動化、マッチングを考えていかなければならない。
- ・企業の人材確保への支援が、計画の中心であるべき。

